

## バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】佐久市バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km <sup>2</sup> )
24	2008.3.31			長野県	佐久市	101,278	424
構想の要約		既存のバイオマス関連施設による「堆肥化事業」を継続するとともに、新たに間伐材や林地残材等のチップ・ペレット化等による「木質固形燃料化事業」や、遊休農地での資源作物栽培から食用油製造、廃食用油回収等を行う「バイオ燃料化事業」等に取り組み、新エネルギー政策、首都圏近郊型農業による地域振興及び環境対策との整合性を十分に認識しつつ、地域のバイオマスの更なる有効活用と環境重視の循環型社会の形成を目指す。					
構想に盛り込まれた事業		1. たい肥化事業 2. 木質固形燃料化事業 3. バイオ燃料化事業					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス				
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部		
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○	
廃食用油	○	果樹剪定枝		
水産加工残さ		竹材		
製材工場等残材	○	その他( )		
建設発生木材				
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草				
古紙・廃棄紙	○			
下水汚泥など	○			
その他( )				

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	
飼料化		直接燃焼	○
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他(敷料、紙再資源化)	○	炭化	
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	
		その他( )	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事
2010.5.11	2008.3.31バイオマスタウン構想公表(JORA策定協力)

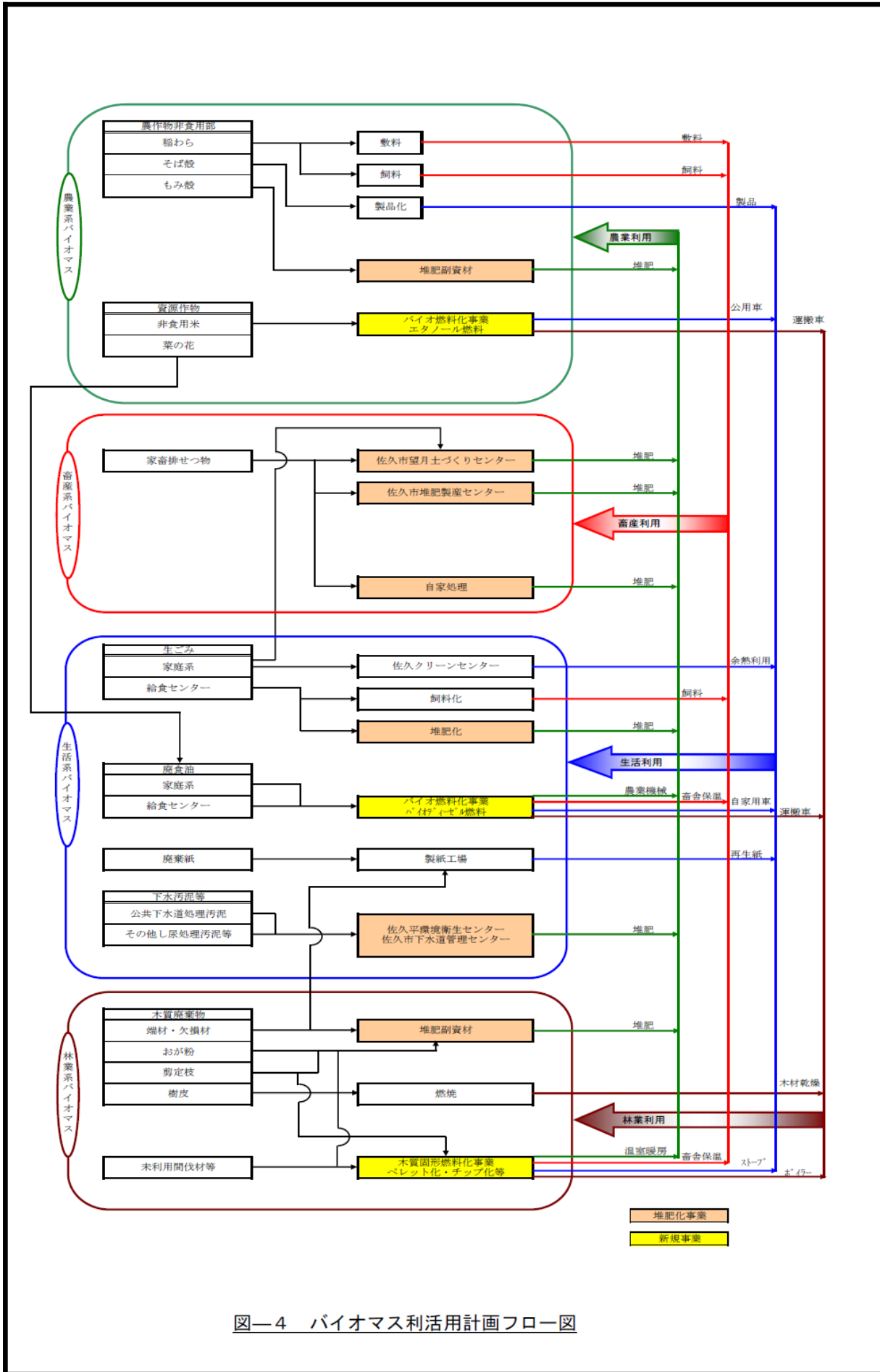
実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

**バイオマス利活用目標**  
(バイオマスタウン構想書からコピー)

バイオマス		賦存量 (t/年)	炭素換算量 (t-c/年)	全体比	利用計画	仕向量 (t/年)	炭素換算量 (t-c/年)	炭素換算 利用率 (%)
家畜排せつ物	乳牛	12,934	627	5.1	堆肥化	12,934	627	100
	肉牛	13,548	656	5.3	堆肥化	13,548	656	100
	豚	2,554	265	2.2	堆肥化	2,554	265	100
	鶏	6,781	536	4.3	堆肥化	6,781	536	100
廃棄物系	生ごみ	15,590	689	5.6	燃焼排熱利用 ・堆肥化	15,590	689	100
	廃食用油	329	234	1.9	バイオディー ゼル燃料化	263	187	80
	廃棄紙	13,571	6,327	51.4	再資源化	13,571	6,327	100
	木質廃棄物等	4,763	2,453	19.9	堆肥化等	4,763	2,453	100
	下水汚泥等	23,671	525	4.3	堆肥化等	23,671	525	100
	小計		12,312	100			12,265	99.6
	農作物非食用部	15,416	4,415	27.0	敷料・堆肥化等	7,824	2,242	50.8
未利用系	圃場残さ	11,076	3,172	19.4	—	0	0	0
	未利用間伐材等	40,326	8,773	53.6	木質固形 燃料化	8,065	1,754	20
	小計		16,360	100			3,996	24.4
全体計			28,672	100			16,261	56.7

# バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)



図—4 バイオマス活用計画フロー図

### 実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	<p>添付別紙(パンフレット等)参照</p> <p>(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)</p>
-------	--